

# 藤 健一教授 略歴 主要著書・論文目録

## 略 歴

### 学 歴

- 1949（昭和24）年12月12日静岡県に生まれる
- 1968年3月 静岡県立清水東高等学校卒業
- 1968年4月 立命館大学文学部哲学科心理学専攻入学
- 1972年3月 立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業
- 1972年4月 中京大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程入学
- 1974年3月 中京大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了（文学修士）

### 職 歴

- 1974年4月 中京大学臨時職員（文学部心理学研究室勤務 1975年3月まで）
- 1975年4月 立命館大学文学部助手（1979年3月まで）
- 1979年4月 立命館大学文学部助教授（1992年3月まで）
- 1992年4月 立命館大学文学部教授
- 1998年4月 立命館大学理工学部教授（2000年3月まで）
- 2000年4月 立命館大学文学部教授
- 2015年3月 立命館大学定年退職
  
- 1976年4月 京都大学霊長類研究所共同利用研究員（1978年3月まで）
- 1984年4月 日本学術振興会流動研究員（京都大学霊長類研究所 1984年9月まで）
- 1992年4月 京都大学霊長類研究所共同利用研究員（1994年3月まで）
- 1993年9月 愛知大学教養部研究員（立命館大学学外研究員）（1994年3月まで）
- 1995年4月 京都橘女子大学非常勤講師（「心理学概論」ほか担当 1997年3月まで）
- 1995年10月 大阪大学非常勤講師（「精神物理学」担当 2007年3月まで）
- 1999年4月 名古屋大学非常勤講師（「心理学特殊研究」担当 1999年9月まで）

### 主な学内役職

- 文学部学生主事（1990年4月～1991年3月）
- 総合基礎教育副センター長（1994年4月～1995年3月）
- 文学部主事（1997年4月～1998年3月）
- 文学部調査委員長（2000年4月～2001年3月）
- 教養教育センター副センター長（2004年4月～2006年3月）
- 文学研究科主事（2005年4月～2006年3月）
- 文学部副部長（2006年4月～2007年3月）

大学協議会委員 (2009年4月～2011年3月)

立命館大学ハラスメント防止委員会委員 (2009年4月～2011年3月)

学校法人立命館評議員 (2011年4月～2014年3月)

立命館大学体育会重量挙部部長 (1999年4月～2014年3月)

### 学会及び社会における活動略歴

日本心理学会 会員 代議員 委員会委員

日本動物心理学会 会員 編集委員

日本行動分析学会 会員 理事 常任理事 編集委員 「行動分析学研究」編集委員長 理事長

行動科学学会 会員 運営委員

日本霊長類学会 会員

日本動物行動学会 会員

関西心理学会 会員 委員

東海心理学会 会員

日本魚類学会 会員

専門分野／実験系心理学

研究課題／ヒトと動物の実験的行動分析学的研究、心理学における実験装置学・装置史

### 主な研究業績

#### <著書>

1. 知覚『心理学－行動を科学する』第2章第1節(分担)ナカニシヤ出版, 1983.
2. 環境の知覚『心理学－経験と行動の科学』第4章(分担)ナカニシヤ出版, 1988.
3. 誘因対比効果『動機づけの基礎と臨床』第1部第3章1(分担)川島書店, 1997.
4. 行動の形成と変容『心理学概説』第7章(分担)培風館, 1997.
5. 喜怒哀楽と感情の機能『心理学概説』第18章(分担)培風館, 1997.
6. 動物の起源と進化『パピーニの比較心理学』第6章(翻訳)北大路書房, 2005.  
(Papini, M. R. "Comparative Psychology: Evolution and Development of Behavior"  
Pearson Education Inc. 2002.)
7. 『行動分析学アンソロジー 2010』(共編著)星和書店, 2011.
8. 学習(行動・動物)『心理学スタンダード』12章(分担)ミネルヴァ書房, 2014.

#### <論文>

1. 藤健一 垂直知覚に関する一考察 立命館文学, 367・368, 21-37, 1976.
2. 藤健一 心理学の実験装置構成におけるICの利用(1)立命館文学, 373・374, 562-579, 1976.
3. 藤健一 心理学の実験装置構成におけるICの利用(2)立命館文学, 375・376, 838-863, 1976.
4. 藤健一 垂直の知覚における枠組みの検討 立命館文学, 384・386, 787-816, 1977.
5. 藤健一 動物における知覚の研究 立命館文学, 386・390, 1072-1092, 1977.
6. 藤健一 心理学の実験装置構成におけるICの利用(3)立命館文学, 400・402, 837-857, 1978.

7. Fuji, K. & Kojima, S. Acquisition of depth discrimination in a Japanese Macaque: a preliminary study, *Perceptual and motor skills*, 52, 827-830, 1981.
8. 藤健一 心理学の実験制御とマイクロコンピュータ 立命館文学, 439・441, 1-31, 1982.
9. 藤健一 心理学の実験動物としてのキンギョの飼育 立命館文学, 457・459, 1-18, 1983.
10. 藤健一 キンギョにおける単一強化スケジュールの検討 立命館文学, 500, 61-92, 1987.
11. 藤健一 撮影行動の分析 行動分析学研究, 1, 22-29, 1987.
12. 藤健一 日常行動の分析 異常行動研究会誌, 27, 33-47, 1988.
13. 藤健一・浅野俊夫 計算機センター間のファイル転送 愛知大学情報処理センターニュース「コム」, 4, 21-36, 1991.
14. 藤健一 動物実験室の3年間 立命館文学, 252, 296-337, 1992.
15. 藤健一 キンギョのオペラント条件づけ 動物心理学研究, 45, 51-65, 1995.
16. 藤健一ほか 行動分析研究法にいま問われているもの 行動分析学研究, 9, 53-72, 1996.
17. 藤健一 立命館大学文学部心理学研究室の変遷（広小路校舎, 1922-1978）立命館文学, 551, 67-99, 1997.
18. 藤健一 実験的行動分析学と対人援助科学 立命館人間科学研究, 2, 21-31, 2001.
19. 藤健一 野外における野生のハトのオペラント条件づけ 動物心理学研究, 52, 9-15, 2002.
20. 藤健一 日本行動分析学会20年の歩み：1983-2002, 行動分析学研究, 17, 107-135, 2003.
21. 藤健一 立命館大学文学部心理学研究室の古装置類（1948-2004）心理学史・心理学論, 7・8, 39-51, 2006.
22. 藤健一 ハトの集団飼育場面における成員操作による各個体の体重および摂食行動の変容 立命館文学, 620, 118-123, 2011.
23. 藤健一・吉岡昌子 スキナーの製作した機械式累積記録器の変遷と装置試作行動の分析：1930～1960, 心理学史・心理学論, 14・15, 13-29, 2013.
24. 藤健一 動作模型－現存しない過去の実験装置の動作を復元する 心理学ワールド, 66, 2-3, 2014.
25. 藤健一 特許資料－過去の実験装置の構造と機能を推理する 心理学ワールド, 67, 2-3, 2014.

#### <学会報告>

1. 藤健一 2つの図形の異同判断における反応時間と図形方向の検討 東海心理学会第23回大会報告, 1974.
2. 結城錦一・藤健一 視覚的垂直に関する研究 日本心理学会第38回大会発表論文集, 216-217, 1974.
3. 藤健一 2つの図形の異同判断における反応時間と図形方向の検討（Ⅱ）東海心理学会第24回大会報告, 1975.
4. 藤健一 視覚的垂直に関する研究（Ⅱ）日本心理学会第39回大会発表論文集, 89, 1975.
5. 藤健一 視覚的垂直に関する研究（Ⅲ）日本心理学会第40回大会発表論文集, 385-386, 1976.
6. 藤健一 視覚的垂直に関する研究（Ⅳ）日本心理学会第41回大会発表論文集, 236-237, 1977.
7. 藤健一 ニホンザルにおける奥行視力の測定 日本心理学会第42回大会発表論文集, 180-181, 1978.

8. 藤健一 ワンボード・マイクロコンピュータの動物実験における利用 日本心理学会第 44 回大会発表論文集, 31, 1980.
9. 藤健一 キンギョの弁別形成におよぼす FR スケジュールの効果 日本心理学会第 45 回大会発表論文集, 275, 1981.
10. 藤健一 キンギョの条件性弁別 日本心理学会第 46 回大会予稿集, 112, 1982.
11. 藤健一 キンギョにおける Progressive Ratio スケジュールの検討 動物心理学年報, 33, 122, 1983.
12. 藤健一 キンギョの摂食行動の分析 日本心理学会第 47 回大会発表論文集, 377, 1983.
13. 藤健一 キンギョにおける比率スケジュールの検討 関西心理学会第 95 回大会発表論文集, 5, 1983.
14. 藤健一 キンギョにおけるパネル押し行動の形成 動物心理学年報, 34, 38, 1984.
15. 藤健一 キンギョにおける Progressive Ratio スケジュールによる摂食行動の分析 日本心理学会第 48 回大会発表論文集, 323, 1984.
16. 藤健一 キンギョにおける間隔スケジュールの検討 関西心理学会第 96 回大会発表論文集, 20, 1984.
17. 藤健一 キンギョにおける多元強化スケジュールの検討 動物心理学年報, 35, 42, 1985.
18. 藤健一 キンギョの 24 時間連続実験による摂食行動の分析 日本心理学会第 49 回大会発表論文集, 108, 1985.
19. 藤健一 キンギョの摂食行動における摂食可能時間配分の効果 動物心理学年報, 36, 130, 1986.
20. 藤健一 ニホンザルにおける大きさの恒常性 日本心理学会第 50 回大会発表論文集, 138, 1986.
21. 藤健一 キンギョにおける FI スケジュールの検討 関西心理学会第 98 回大会発表論文集, 17, 1986.
22. 藤健一 キンギョにおける連鎖スケジュールの検討 動物心理学年報, 37, 60, 1987.
23. 藤健一 キンギョの摂食行動における連鎖スケジュールの効果 日本心理学会第 51 回大会発表論文集, 277, 1987.
24. 藤健一・獅々見照『小型魚類を用いる学習・行動の実験室的実験技法の検討』(ワークショップ企画) 日本心理学会第 51 回大会発表論文集, 26, 1987.
25. 藤健一 キンギョにおける低反応率分化強化訓練 関西心理学会第 99 回大会発表論文集, 16, 1987.
26. 藤健一 キンギョにおける DRL スケジュールの検討 動物心理学年報, 38, 18, 1988.
27. 藤健一 キンギョの摂食行動における摂食可能時間制限の効果 日本心理学会第 52 回大会発表論文集, 708, 1988.
28. 藤健一『食べる - その行動, 病理, 中枢 -』(シンポジウム指定討論) 日本心理学会第 52 回大会発表論文集, 25, 1988.
29. 藤健一 キンギョにおける低反応率分化強化訓練 (その 2) 関西心理学会第 100 回大会発表論文集, 46, 1988.
30. 藤健一 MSX パソコンの行動実験での利用 行動分析学研究, 4, 75-76, 1989.

31. 藤健一 キンギョにおける連鎖スケジュールの検討 (2) 動物心理学年報, 39, 46, 1989.
32. 藤健一 キンギョにおける連鎖型 Progressive Ratio 強化スケジュールを用いた摂食行動の分析 日本心理学会第 53 回大会発表論文集, 703, 1989.
33. 藤健一 キンギョのオペラント実験用大型実験水槽 日本心理学会第 54 回大会発表論文集, 617, 1990.
34. 藤健一 大型水槽を用いたキンギョの摂食行動の分析 動物心理学研究, 40, 55-56, 1990.
35. 藤健一 俳句の季語使用の行動分析 行動分析学研究, 5, 142-143, 1990.
36. 藤健一 電子メールの利用について 関西心理学会第 102 回大会発表論文集, 22, 1990.
37. 藤健一 大型水槽を用いたキンギョのオペラント行動の分析 動物心理学研究, 70, 1991.
38. 藤健一 非日常場面における日常行動の分析 行動分析学研究, 6, 59-60, 1991.
39. 藤健一 複数個体場面におけるキンギョのオペラント行動の分析 日本心理学会第 55 回大会発表論文集, 297, 1991.
40. 藤健一 電子掲示板の利用について 関西心理学会第 103 回大会発表論文集, 33, 1991.
41. 藤健一 複数個体場面におけるキンギョのオペラント行動の分析－小型水槽場面の場合－ 動物心理学研究, 42, 45-46, 1992.
42. 藤健一 複数個体場面におけるキンギョのオペラント行動の分析 (2) 日本心理学会第 56 回大会発表論文集, 452, 1992.
43. 藤健一 通信行動の分析 行動分析学研究, 7, 149-150, 1992.
44. 藤健一 明治から昭和初期の心理学書に記載された心理学実験装置 関西心理学会第 104 回大会発表論文集, 16, 1992.
45. 藤健一 野生のハトの自然場面におけるキーつつき反応の形成 動物心理学研究, 43, 46-47, 1993.
46. 藤健一 パソコンのプリンタインタフェースを利用した行動実験用簡易制御ボード 日本心理学会第 57 回大会発表論文集, 11, 1993.
47. 藤健一 ロータリソレノイドを用いたハト用フィーダの試作 行動分析学研究, 8, 181, 1993.
48. 藤健一 国内の心理学の実験研究における実験デザインの推移について 日本心理学会第 58 回大会発表論文集, 950, 1994.
49. 藤健一 ハトの摂水行動の分析 動物心理学研究, 49, 81, 1999.
50. 藤健一 ハトの摂食行動と摂水行動の交互作用の分析 動物心理学研究, 50, 304, 2000.
51. 藤健一 ハトのオペラント実験用給餌装置・給水装置 日本心理学会第 64 回大会発表論文集, 676, 2000.
52. 藤健一 ハトのマルチオペラント行動の分析 動物心理学研究, 51, 75, 2001.
53. 藤健一 ハトの並立強化スケジュールを用いた摂食・摂水行動の分析 日本心理学会第 65 回大会発表論文集, 382, 2001.
54. 藤健一 ハトの摂食・摂水行動のマルチオペラント分析 日本心理学会第 66 回大会発表論文集, 700, 2002.
55. 藤健一 ハトのキーつつき反応に基づく摂食行動と摂水行動に及ぼす習字・給水環境条件の影響 動物心理学研究, 52, 145, 2002.
56. 藤健一 ハトの 24 時間連続実験場面を用いた給餌・給水封鎖環境下における摂水行動の分析

- 動物心理学研究, 53, 132, 2003.
56. 藤健一 動物実験の体験を通じて 日本行動分析学会第21回大会発表論文集, 35, 2003.
  57. 藤健一 ハトの24時間連続実験による摂食・摂水行動の分析 日本心理学会第回大会発表論文集, 783, 2003.
  58. 藤健一 給水条件の操作に伴う封鎖型摂食・摂水環境下のハトの摂食量・摂水量の分析 動物心理学研究, 54, 130, 2004.
  59. 藤健一 長期封鎖型摂食・摂水環境におけるハトの水分確保 日本心理学会第68回大会発表論文集, 753, 2004.
  60. 藤健一 ハトの24時間連続実験における室温操作による摂食・摂水反応の時間的変動 動物心理学研究, 55, 117, 2005.
  61. 藤健一 長期封鎖型環境におけるハトの摂食・摂水行動に及ぼす温度の効果 日本心理学会第69回大会発表論文集, 802, 2005.
  62. 藤健一 ハトの24時間連続実験における室温操作による摂食・摂水反応の時間特性の変動 動物心理学研究, 56, 153, 2006.
  63. 藤健一 長期封鎖型環境におけるハトの摂食・摂水行動に及ぼす温度の効果(2) 日本心理学会第70回大会発表論文集, 806, 2006.
  64. 藤健一 日長時間とハトの摂食・摂水反応従事時間 日本心理学会第71回大会発表論文集, 767, 2007.
  65. 藤健一 行動を“時間”から考える 日本動物心理学会第67回大会プログラム, 17, 2007.
  66. 藤健一 ハトの摂食・摂水行動における給餌率と給水率の非同等な効果 動物心理学研究, 57, 133, 2007.
  67. 藤健一 ハトの集団飼育場面における成員操作による体重変動 動物心理学研究, 58, 215, 2008.
  68. 藤健一 季節変動を伴う日長時間と環境温との対応を崩した場合におけるハトの摂食・摂水反応 日本心理学会第72回大会発表論文集, 835, 2008.
  69. 藤健一 内藤耕次郎の色聴図について 関西心理学会第120回大会発表論文集, 25, 2008.
  70. 藤健一 個別飼育下にあるハトの体重に対する給餌統制と摂水統制の異なる効果 日本心理学会第73回大会発表論文集, 823, 2009.
  71. 藤健一 『古行動(Paleo Behavior)の分析:史学・考古学・心理学』(シンポジウム企画) 日本心理学会第73回大会発表論文集, S(13), 2009.
  72. 藤健一 個体間連動条件を用いたハトの体重変動に及ぼす給餌・給水環境の検討 動物心理学研究, 59, 287, 2009.
  73. Muramatsu, A., & Fuji, K. Discrimination learning of the conspecific's behavioral stimuli in pigeons (*Columba livia*) with introducing different topographies and reinforcers. International Symposium "HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society". March, 2010.
  74. 藤健一・村松明穂 古装置としてのバーニアクロノスコープについて 関西心理学会第122回大会発表論文集, 27, 2010.
  75. 藤健一 ハトの給餌・給水環境の体重変動に及ぼす効果 動物心理学研究, 60, 202, 2010.

76. 村松明穂・藤健一 デンショバトにおける反応トポグラフィ・強化子が異なる他個体のオペラント鼓動の弁別学習 動物心理学研究, 60, 222, 2010.
77. 藤健一 ハトの摂食・摂水行動に及ぼす給餌・給水環境統制の効果 日本心理学会第74回大会発表論文集, 779, 2010.
78. 藤健一 『動物学習研究の方法論を考える－条件づけ研究事始－』(ワークショップ指定討論) 日本心理学会第74回大会発表論文集, WS (39), 2010.
79. 藤健一 定温度に設定した長期連続事件場面におけるハトの摂食・摂水行動の分析 日本心理学会第75回大会発表論文集, 769, 2011.
80. 藤健一 スキナーの累積記録器の変遷(1930～1960) Gerbrands Model C-1 (1955) 動作模型の製作(ワークショップ『国内における実験心理学機器及び関連史料のデジタルアーカイブ化の現状と問題点』話題提供), WS (48), 2011.
81. 藤健一 “Skinner の問題箱 (problem box: 1935)” 動作模型の製作 関西心理学会第123回大会発表論文集, 64, 2011.
82. 藤健一 定温度に設定した長期連続事件場面におけるハトの摂食・摂水行動の分析(2) 日本心理学会第76回大会発表論文集, 759, 2012.
83. 藤健一 実験的行動分析から見た認知行動療法 日本行動療法学会第38回大会特別講演 2012年9月23日 京都・立命館大学
84. 藤健一 Gerbrands C-1型累積反応記録器動作模型の製作 関西心理学会第124回大会発表論文集, 61, 2012.
85. 藤健一 『開かれた行動分析学に向けて－シングルケースデザインをめぐって－』(日本行動分析学会創立三十年記念シンポジウム指定討論), 日本行動分析学会第31回年次大会発表論文集, iii-iv, 2013.
86. 藤健一 定温度に設定した長期連続事件場面におけるハトの摂食・摂水行動の分析(3) 日本心理学会第77回大会発表論文集, 706, 2013.
87. 藤健一 Skinner と Anger による初期累積記録器(1948年頃)の動作模型の製作 関西心理学会第125回大会発表論文集, 35, 2013.
88. 藤健一 反応記録装置としての“Arbeitsschauuhr”－Skinner 以前の累積記録器開発史－ 日本行動分析学会第32回年次大会発表論文集, 31, 2014.
89. Fuji, K. On the effects of varying body weight and kinds of grain as reinforcers in VR schedule on food intake behaviour of a pigeon (*Columba livia*). 動物心理学研究, 64, 107-108, 2014.
90. 藤健一 ハトの摂食・摂水行動の季節周期性に及ぼす給餌・給水制御の効果 日本心理学会第78回大会発表論文集, 789, 2014.
91. 藤健一 行動研究における累積記録法と累積反応記録装置: その誕生・発展・黄昏 (シンポジウム『装置発展が切り開くこころのフロンティア』話題提供) 日本心理学会第回大会発表論文集, SS (18), 2014.
92. 藤健一 ORCON 計画(1948-1952)におけるハト用フィーダの動作模型の製作 関西心理学会第126回大会発表論文集, 29, 2014.

<製作した主な実験装置類>

1. 垂直知覚測定用光条提示装置 1970 (本体現存せず)
2. 垂直知覚測定用光条提示及び身体傾斜装置 1971 (本体現存せず図面あり)
3. 垂直知覚測定用光条距離可変提示装置 (試作型) 1972 (本体現存せず資料あり)
4. 垂直知覚測定用光条距離可変提示装置 1973 (本体現存せず資料あり)
5. サル用オペラント実験 (利他行動研究) 用 IC 回路 1974 (本体現存せず回路図保存)
6. 垂直知覚測定用提示及び周辺 IC 回路 1975 (本体現存せず回路図保存)
7. ランダムインターバル発生装置 IC 回路 1977 (可動・回路図あり)
8. サル用奥行視力測定オペラント実験装置及び IC 制御回路 1977 (本体現存せず回路図保存)
9. マイクロプロセッサ (SC/MP-II) 実装ワンボード・マイクロコンピュータ 1978 (現存)
10. サカナ用オペラント弁別実験装置 1980 (部分保存回路図保存)
11. サカナ用オペラント反応実験装置 1980 (本体保存回路図保存)
12. サカナ用オペラント反応訓練水槽 1984 (本体現存せず)
13. サル用視覚的大きさの恒常性測定オペラント実験装置 1984 (本体現存せず資料保存)
14. サカナ用大型オペラント実験水槽 1989 (装置部分保存)
15. ハト用野外実験箱 1992 (可動)
16. サルの視空間の異方性測定用オペラント実験装置 1993-1994 (本体現存せず資料保存)
17. プリントポートを利用した周辺機器制御用インタフェース回路 1993 (可動)
18. ハトケージ内における摂水反応検出用給水栓 1998 (本体保存)
19. ハト用給餌・給水装置付連続実験オペラント実験箱 1999 (可動)
20. スキナーの傾斜箱装置の給餌装置の動作模型 2010 (可動)
21. スキナーの問題箱の動作模型 2010 (可動)
22. Gerbrands C-1 型累積記録器 (1950?) の動作模型 2011 (可動)
23. Harvard cumulative recorder (Keio-recorder) (1948 ? 頃) の動作模型 2011 (可動)
24. Harvard cumulative recorder Model-A (1948 ? 頃) の動作模型 2012 (可動)
25. Harvard cumulative recorder Model-B (1948 ? 頃) の動作模型 2012 (可動)
26. Skinner/Anger 型累積記録器の動作模型 (1948 ? 頃) 2013 (可動)
27. ORCON 計画のハト用フィーダ (1948) の動作模型 2013 (可動)
28. Ludwig の Kymographion (キモグラフ) (1847) の動作模型 2015 (試作中)

<報告>

1. 藤健一 サルの奥行知覚 霊長類研究所年報, 7, 40, 1977.
2. 藤健一 ニホンザルにおける奥行視力の測定 霊長類研究所年報, 8, 46, 1979.
3. 藤健一 サカナ用スキナー箱の製作 心理学ラボラトリ・コンピュータ研究会テクニカル・レポート 1, 62-66, 1982.
4. 藤健一 日本語ワードプロセッサ PLANET, 1, 8, 1983.
5. 藤健一 EPSON ターミナルプリンタ RP-80 で累積反応記録を書く PLANET, 3, 29, 1984.
6. 苧阪良二・浅野俊夫・藤健一 心理学のインストルメンテーションにおけるマイクロコンピュータ: その来し方行く末 PLANET, 4, 18-29, 1984.



7. 藤健一 リニアパルスモータ PLANET, 6, 34, 1986.
8. 藤健一 霊長類における異方性に関する実験的研究 霊長類研究所年報, 23, 61, 1993.
9. 藤健一 ニホンザル<sup>(ママ)</sup>の距離知覚における視空間の異方性に関する実験的研究 霊長類研究所年報, 24, 59-60, 1994. (書誌事項の「ニホンザル」は「アカゲザル」の誤り)
10. 藤健一 アカゲザルの距離知覚における視空間の異方性に関する実験的研究 霊長類研究所年報, 25, 75, 1995.

#### <心理学に関わる諸活動>

立命館大学で開催した学会

関西心理学会第95回大会(1983年10月)大会準備委員会 事務局長

日本行動分析学会第9回大会(1991年7月)大会準備委員会 委員長

日本心理学会第73回大会(2009年8月)大会準備委員会 事務局長

高等学校での心理学の出張講義

静岡県立藤枝東高等学校 静岡県立清水東高等学校 三重県立上野高等学校